

岩手県立盛岡南高等学校



学校評議員会実施報告書

令和5年度 第2回学校評議員会の報告である。

- 開催日時 令和6年2月19日（月） 14:30～15:35
- 出席者 学校評議員 作山 文康、佐々木 秀 一、高橋 善躬、田口 雅敏、福士 昌人
※松尾 和彦（富士大学教授）
教職員 田鎖 伸也、川戸 英夫、村山 薫美、葛西 貢阿

3 説明内容

- 学校概況説明
- 学校評価アンケートの結果

4 主な質疑応答・意見交換

評議員：心のケアについて、今年度の取組を教えてください。

職員：昨年度に引き続き県派遣の学校カウンセラー1名と、本校でお願いしているスクールカウンセラー1名の2名体制で対応している。学校カウンセラーは月1回、スクールカウンセラーは毎週水曜日に来校している。生徒だけではなくその保護者を含めて、様々な相談が寄せられている。また、緊急対応しなければならないこともあるので、柔軟に対応している。

評議員：今夏の暑さは異常であったが、その時に特別教室にエアコンがなく授業で使えないということは避けなければならない。不便さを生徒に感じさせない施設であってほしい。

評議員：部活動の活躍が素晴らしいが、保護者からは賛否の意見がある。今後の課題があれば教えてください。

職員：部活動については、週1回の休養を設けながら、効率のいい練習を部顧問にお願いしている。競技によっては、シーズンになると遠征が続いたり、練習内容が厳しくなったりすることもあるが、怪我無く個々に応じた練習が行われていると見ている。生徒、保護者からの要望に応えながら、限られた時間の中で成果を上げるのは並大抵のことではないが、今後も工夫しながら進めていきたい。

評議員：進路について、様々な進路に対応いただいている。保護者からは学力向上についての意見もあり、一人一人に寄り添った指導をお願いしたい。

評議員：統合に向けて様々な課題がある。課題をクリアしながら、新しい学校としての気概を作っていくような1年であってほしい。この1年を盛岡南高校としての最後として捉えるのか南昌みらい高校に向けての1年と捉えるかということはあるが、地域との交流を含めた教育活動が行われることを期待する。

5 連絡事項

本日の旅費等の振込みについて